

まだ働きたいという思い 再生医療が選択肢に

治療歴： 両ひざASC療法+両ひざカクテル療法 (FD+ASC)

(ASC2021年3月・FD2021年10月・ASC2022年1月)

症 状： 両変形性ひざ関節症(両ひざ内側半月板損傷)

戸塚 祥治 さん 60代
大工



大工として50年 仕事の積み重ねでひざ痛が悪化

18歳から大工に就いてかれこれ50年近くになります。職業柄、重たいものを持つことや、無理な体勢になることが多く、ひざに負担がかかっていたようです。もともとO脚だったこともあり、左ひざの半月板を損傷しました。

初めは地元の病院にかかっていたのですが、快方に向かうことはなく、触るだけでも痛みを感じるほどに。そのうえ、左ひざをかばっていたせいか、右ひざのO脚が進み、痛みが出るようになったのです。ひざに水がたまり、腫れもひどくなりました。

ひざの水を抜くため週に2回通院することになり、大工の仕事にも支障をきたすようになりました。病院からは手術を提案されましたが、そうなると長期的に仕事を休まなければなりません。「他に治療法はないのだろうか」と模索していくうちに、再生医療の存在を知ったのです。



再生医療専用コンサルジュとの打合せ

状況に応じた柔軟な治療で 充実した日々を取り戻す

再生医療を行っている病院を探していたところ、地元からそう遠くない場所に、まっただ整形外科が見つかり、早速相談に行くことになりました。これまで「戸塚さんの症状だと、手術以外の選択肢はない」といわれていたのですが、松田先生は手術不要で仕事も休む必要のない、ASC療法を提示してくれて、嬉しかったのを覚えています。ただ、正直にいうと半信半疑で、痛みが半分でもとれば御の字だと思っていたのです。

治療はとんとん拍子に進んだわけではありませんが、先生に何度か治療方法を相談する中で、私のひざの状態に合った治療を提案してくれたので助かりました。現在は1年に1回の通院で済んでいます。働く身としては、ひんぱんに通院することなく治療できるのはありがたいです。

こうして今もバリバリの現役大工！ 充実した日々を取り戻しました。あと10年は現場仕事を続けたいというのが私の願いです。元気なひざで、趣味のバイクも大いに楽しみたいと思っています。



理学療法の実施

治療歴

